

佐世保高専低学年における英語学習の現状と課題*

大里浩文**

A Report on Current State and Issues of 1st to 3rd Grade Students' Attitude toward English Learning

Hirofumi OSATO

1. はじめに

本論文では、佐世保工業高等専門学校（以下、本校）の全4年生が本校の後援会補助により受験するTOEIC Listening & Reading IPテストの結果を、理工系大学生の平均、企業が求める英語力、高校生の平均と比較し、本校4年生の英語力の現状を評価する。また、本校3年生と大学受験を目指す高校3年生に対して、「英語学習アンケート」を実施し、英語学習に対する意識や取り組み状況を比較する。調査結果を基に、本校低学年生が自発的に英語の基礎力向上を目指し、自律した学習者になるために必要な課題を考察するものである。

2. TOEIC IP 結果からみる本校の現状

本校英語科では、学生の英語学習に対するひとつの指針として、本科上級生ではTOEIC 400点以上、専攻科では500点以上を目標とするよう動機付けを行っている。また、本校では、TOEICスコア350点以上を専攻科進学推薦要件の一つとしている。

英語授業では、3年生の「英語」で検定教科書に加え、TOEIC初心者向けの問題を用いて導入を行い、4年生の「コミュニケーションⅠ」において、TOEICに対応する授業を半期開講している。

本校では、学生の英語力を測定し、英語学習に対する意識付けやモチベーション向上を図ること、また、就職・進学対応を目的として、全学希望学生に対して年に3~4回TOEIC IPを実施している。さらに、2014年度より年に1回、後援会補助により全4年生に対してTOEIC IPを実施している。

以下、過去5カ年（2017年度～2021年度実施）の後援会補助による本校4年生対象のTOEIC IP平均

* 原稿受付 令和3年10月28日

** 佐世保工業高等専門学校 基幹教育科

スコアを高等学校、高専、理工系大学生の平均スコアおよび企業が社員に求める英語力と比較し、本校4年生の英語力の現状を考察する。

2. 1 本校4年生 TOEIC IP 結果

表1～表5は2017年度～2021年度に全4年生を対象として実施されたTOEIC IPの平均スコア、最高点、最低点、400点以上のスコアを獲得した学生数を学科別で示すものである。

表1 2017年度全4年生TOEIC IP(6月実施)

	Listening	Reading	Total	最高点	日本人最高点	最低点	400点以上
機械	180	119	298	485	485	180	4
電気電子	182	113	295	845	505	210	2
電子制御	205	139	344	645	645	195	12
物質	193	130	323	980	525	200	5
全学科	190	125	315	980	645	180	23

表2 2018年度全4年生TOEIC IP(6月実施)

	Listening	Reading	Total	最高点	日本人最高点	最低点	400点以上
機械	190	121	311	905	525	160	5
電気電子	198	119	317	430	430	215	2
電子制御	229	141	370	730	730	200	10
物質	218	129	346	560	560	215	8
全学科	209	128	336	905	730	160	25

表3 2019年度全4年生TOEIC IP(6月実施)

	Listening	Reading	Total	最高点	日本人最高点	最低点	400点以上
機械	200	130	330	940	790	185	9
電気電子	204	124	328	825	435	205	4
電子制御	200	124	324	520	520	180	8
物質	207	127	334	875	445	225	3
全学科	203	126	329	940	790	180	24

表4 2020年度全4年生TOEIC IP(9月実施)

	Listening	Reading	Total	最高点	日本人最高点	最低点	400点以上
機械	179	120	290	670	525	150	3
電気電子	211	143	355	980	500	205	7
電子制御	216	152	368	675	675	200	13
物質	221	136	357	735	735	215	8
全学科	207	138	343	980	735	150	31

表5 2021年度全4年生TOEIC IP(6月実施)

	Listening	Reading	Total	最高点	日本人最高点	最低点	400点以上
機械	215	161	376	960	835	200	16
電気電子	181	133	314	665	665	150	8
電子制御	237	171	408	990	850	170	19
物質	214	147	361	595	595	220	13
全学科	212	153	365	990	850	150	56

各年度の全学科の総合スコアの平均は315点～365点である。徐々に平均スコアの伸びは見られるが、表に示す企業が新入社員に期待するスコアは535点であり、表7に示す工学系の大学1年生の平均スコアと比較しても本校4年生の各学科の平均スコアとはListeningもReadingも大きく開きがある。

また、表8と表9は高校と高専の学年別平均スコアである。本校4年生の平均スコアは他高専と比較すると平均的と言えるが、高校生と比較した場合にはかなりの差があり、高校生と比較して本校学生はTOEICに対応できる英語力は身につけていないことが分かる。

2. 2 英語学習に対する課題

本校が受験するTOEIC Listening & Reading IPテストは200問(Listening100問・Reading100問)を約120分で解答しなければならない。出題される問題は、1～3年の英語授業で使用される検定教科書で扱われている題材や語彙とは異なり、ビジネス英語に近いものである。高得点を獲得する学生はいるものの、全体として語彙力育成や基本的文法の定着がなされていないこと、長文を読む際もスキミング(skimming)やスキニング(scanning)といった素早く必要な情報を読み取るトレーニングが不足していることが考えられる。

また、高専は高校生が目指すような大学受験を目的とした学校ではない。学生の多くは、数学や物理・化学といった理系科目や自身が所属している学科の専門科目の学習や実験レポート作成に、より多くの時間を費やしている。学生により個人差はあるものの、英検やTOEICなどのような英語資格試験への勉強はもちろん、各自の目標に向かって英語力向上を目指し、意識的・継続的に英語学習に取り組む習慣も学校全体としては動機付けできていないと言える。

高専の学生には、TOEICのみならず、大学編入学試験、卒業研究(特別研究)の抽象図作成、プレゼンテーション、英会話等さまざまな場面に対応できる英語力が求められている。いずれも短時間の準備で対応できるものではなく、低学年(1～3年)次から地道に積み上げた英語の基礎力が必要となることから、低学年時の意識的・継続的な英語学習が重要となってくる。

表6 社員・職員に期待するTOEIC平均スコア

	新入社員	中途社員	技術部門	営業部門	海外部門
TOEIC L&R	535	560	560	575	690

英語活用実態調査2019(一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会)

表7 大学1年選考別受験者数と平均スコア

	受験者数	Listening	Reading	Total
理・工・農学系	45,968	257	211	468
情報科学系	9,440	257	209	466
医・薬学系	10,116	276	231	507

(TOEIC Program DATA & ANALYSIS 2021)

表8 所属学校・学年別受験者数と平均スコア

	受験者数	Listening	Reading	Total
高校1年	1,934	237	164	401
高校2年	5,262	252	174	427
高校3年	10,460	258	185	443

(TOEIC Program DATA & ANALYSIS 2021)

表9 所属学校・学年別受験者数と平均スコア

	受験者数	Listening	Reading	Total
高専1年	91	218	139	356
高専2年	194	237	159	396
高専3年	3,723	205	137	342
高専4年	7,312	220	144	364
高専5年	2,248	231	159	391
高専6年	521	250	173	423
高専7年	190	257	183	439

(TOEIC Program DATA & ANALYSIS 2021)

3. 英語学習アンケート

本校3年生(4学科163名)と福岡県内私立高等学校3年生(4クラス129名)に対してアンケート調査を行

い、英語学習に対する意識調査を実施した。協力を依頼した私立高等学校（以下、C高校）の生徒は、難関国立大学を目指す58名と国立大学を目指す71名の生徒である。調査方法として、本校の学生に対してはGoogle Formsを用い、また、C高校の生徒にはアンケート用紙を用いて実施した。

3. 1 アンケート調査

アンケートの質問項目を以下に示す。また、各質問に対する回答は選択肢から選ぶ形式とした（資料1参照）。

アンケートは、＜卒業後の進路＞と＜英語学習について＞の2部で構成され、それぞれ以下の質問を行った。

＜進路について＞

1. 高専（高等学校）卒業後の希望進路
2. 現在希望している将来の職種

＜英語学習について＞

1. 英語や英語学習への興味
2. 英語が得意であるか
3. 英検の取得級
4. 英語学習の目的
5. 週当たりの英語学習の時間（授業を除く）
6. 英語学習に利用している教材等
7. 英語学習において最も重視していること
8. 英語学習において最も苦労していること（自由記述）

3. 2 調査結果比較

最初に、卒業後の進路についての回答を報告する。表10は「高専（高等学校）卒業後に予定している進路を教えてください」という質問に対する回答である。高専生の「大学・短期大学」への進学は、高専卒業後の大学3年への編入学を希望していることを意味する。被験者であるC高校の生徒は国立大学を目指す進学クラスに属しているため、98%の生徒が進学希望と回答をしている。また、表11は「現在希望している将来の業種は何ですか」の問いに対する回答を示している。高専はエンジニア育成を目指す学校のため、C高校とは将来希望する業種にも違いが見

受けられる。

表10 高専（高校）卒業後の希望進路 (%)

	高専	C高校
大学・短期大学	49.7	98
専門学校	5.5	
就職	44.8	2

表11 現在希望している将来の業種 (%)

	高専	C高校
公務	12.3	17.6
農林漁業	1.2	6.1
鉱業	0.6	1.5
建設業	4.3	3.8
製造業	22.7	3.8
電機・ガス・熱供給・水道業	11	1.5
情報通信業	28.8	11.5
運輸業・郵便業	1.8	0.8
卸売業・小売業	1.8	0.8
金融業・保険業	0.6	4.6
宿泊業・飲食サービス業	1.2	0.8
生活関連サービス業・娯楽業	6.1	10.7
教育・学習支援業	3.1	16
医療・福祉業	4.3	20.6

次に、英語学習に関する質問についての回答を報告する。

表12は「あなたは英語や英語学習に興味がありますか」に対する回答を示している。

表12 あなたは英語や英語学習に興味がありますか (%)

	高専	C高校
ある	28.2	39.8
どちらかと言えばある	47.2	35.9
どちらかと言えない	18.4	17.2
ない	6.1	7

両校とも、75%以上が英語や英語学習に対して「興味がある・どちらかと言えば興味がある」と回

答していることから、校種や進路に関係なく、「英語が使えるようになりたい」という気持ちは高いことが伺える。

表13は「英検を取得していたら、級を教えてください」に対する回答である。一般的に、英検は、準1級が大学中級程度、2級は高校卒業程度、準2級は高校中級程度、3級は中学卒業程度の難易度と言われている。英検においては、C高校の80%以上が高校中級以上の英語力を身に付けているのに対し、高専の学生は23%程度である。高専の学生も「英語や英語学習に興味がある」と回答した学生が75%程度いたが、少なくとも英検等の資格試験取得に向けた意識は低いことが分かる。

表13 英検を取得していたら、級を教えてください (%)

	高専	C高校
1級		
準1級	0.6	3.4
2級	1.8	46.2
準2級	20.9	31.1
3級	38	16
その他	38.7	3.4

表14は「現在の主な英語学習の目的」に関する回答を示している。

表14 現在の主な英語学習の目的を教えてください
(上位3つを回答) (%)

	高専	C高校
学校の定期テストのため	77.9	55.8
進学のため	47.2	83.7
将来の仕事のため	57.7	43.4
英検やTOEIC等の資格試験のため	53.4	36.4
海外旅行のため	13.5	11.6
外国人と英語で会話を楽しみたいため	20.9	20.9
外国人と友達になりたいため	9.8	7.8
映画やドラマを英語で楽しみたいため	19.6	17.1

高専の学生が回答した上位3つの目的は、「学校の定期テストのため」(77.9%)、「将来の仕事のため」(57.7%)、「英検やTOEIC等の資格試験のため」

(53.4%)であり、およそ80%の学生が定期テストに向けた勉強を英語学習の中心と考えていることが分かる。また、将来の仕事を見据えた英語学習や資格試験取得の必要性も認識しているようだ。一方、C高校で最も多かった目的は、「進学のため」(83.7%)であった。大学受験を目指すコースに所属しているため、英語学習へのモチベーションも高いと想像できる。次いで、「学校の定期テストのため」(55.8%)、「将来の仕事のため」(43.4%)が続いた。

表15は「現在、一週間にどのくらい英語を勉強していますか」に対する回答である。高専の学生の50%程度が「1時間未満」、 「1～2時間」が30%と回答している。「3時間以上」英語に費やしている学生はほとんどいない状況である。一方、C高校では、50%以上が「1時間～4時間」は英語の勉強をしており、20%程の生徒が「5時間以上」の英語学習の時間を確保していることが分かる。

表15 現在、一週間にどのくらい英語を勉強していますか。学校の授業は除きます。 (%)

	高専	C高校
1時間未満	51.5	15.6
1～2時間	33.7	21.9
2～3時間	9.8	21.1
3～4時間	3.1	13.3
4～5時間	1.2	8.6
5～6時間	0.6	7.8
6～7時間		3.9
7時間以上		7.8

表16は、「自分で英語の学習を行う際、主に利用しているものを教えてください(複数回答可)」に対する回答を示している。両校とも共通して、「学校の授業で使うテキストや教材」を英語学習で主に使用する教材と回答している。また、「スマートフォンアプリ」の回答率も両校とも比較的高かった。一方、C高校のおよそ50%は「自分で購入した参考書や問題集」も学習に役立てていると答えているが、本校の学生で「自分で購入した参考書や問題集」を利用している学生は20%程度である。

表16 自分で英語の学習を行う際、主に利用しているものを教えてください(複数回答可)(%)

	高専	C高校
学校の授業で使うテキストや教材	86.5	85.3
自分で購入した参考書や問題集	18.4	48.1
資格試験対策用テキストや問題集	19.6	24
スマートフォンアプリ	42.9	38
学習塾	1.8	17.1
英会話スクール	0.6	1.6
オンライン英会話	0.6	0.8
テレビ/ラジオ講座	4.3	7.8

さらには、C高校では20%ほどの生徒が「学習塾」を利用しているが、本校の学生は1.8%とかなり少ないことが分かる。「英会話スクール」や「オンライン英会話」を利用している学生/生徒は両校とも少ないことが分かった。

表17は「自分で英語学習を行う際、最も重視して取り組んでいるものを教えてください(上位3つを回答)」に対する回答である。本校の学生の自学習内容は、主に「単語・熟語」(92%)、「授業の予習・復習」(56.4%)、「文法」(54%)である。C高校の場合は、「単語・熟語」(90%)、「文法」(50%)、「長文読解」(46.5%)が上位の3つであった。両校とも、「単語・熟語」の重要性は認識しており、非常に高い割合である。また、「文法学習」に取り組む割合もほぼ同じである。一方、本校の学生は自学習として「授業の予習・復習」も重視しているが、「長文読解」においてはC高校と比較して取り組む割合が少ないことが分かった。「英作文」や「スピーキング」の回答率は両校ともそれほど高くなく、自学習では取り組みにくいと思われる。

表17 自分で英語の学習を行う際、最も重視して取り組んでいるものを教えてください(上位3つ回答)(%)

	高専	C高校
授業(学校)の予習・復習	56.4	31.8
単語・熟語	92	90
文法	54	50
長文読解	25.8	46.5
英作文	16.6	11.6
リスニング	36.2	43.4
スピーキング	19	12.4

アンケートの最後の質問事項として、「英語学習において、皆さんが最も苦勞していることを教えてください(自由記述)」という項目を設けた。集まった記述を資料2に掲載する。

3.3 考察

本校全4年生対象に実施するTOEIC IPの結果より、本校4年生の平均スコアは同年代の大学1年生の平均のみならず高校生の平均にも達していない。TOEICのスコアが学生の英語力を測定する有効な手段であるとは必ずしも思わないが、本校の学生は入学後から3年次までの英語学習に対する意識や取り組みが十分とは言えないことが判断できる。

本校3年生および福岡県内私立高校(C高校)3年生に実施した英語学習アンケートより、本校の学生も75%以上が「英語・英語学習に興味がある」と回答している。また、英語学習の目的においても「将来の仕事や進学のため」や「英検やTOEIC等の資格試験のため」も高い割合で回答されており、英語の必要性は認識している様子が伺える。一方、本校3年生の一週間あたりの英語学習時間(授業以外)は50%の学生が「1時間未満」、34%が「1時間~2時間」であり、全体的に学習時間として長くはない。英語学習の目的として、約80%が「定期テストのため」と回答していること、日常の主な学習内容に関しても「授業の予習・復習」、「単語・熟語」が中心であることから判断して、定期テスト前は既習範囲(試験範囲)の勉強を集中的に行うが、日々の学習では、授業に備えて単語の意味を調べたり、授業内で実施される単語小テストの準備をすることのみが勉強の中心となっていると思われる。

また、英検取得状況においても、本校の現3年生の75%程度が中学校時代に取得した「3級以下」のままであることから、将来における英語の必要性を認識しており、英検等の資格試験取得を目標には掲げているものの、実際の学習においては、定期テストや小テスト以外の勉強に取り組むまでの意識はないことが分かる。授業で学習した既習の文法項目や語彙力強化について考えてみても、授業中配布されたプリントや授業で使用する教材以外に自分で購入した問題集等を用いて繰り返し学習することで定着を図るなどの意識的な学習には至っていないことが

分かる。

天内(2010)も指摘しているように、高専と高校との英語学力の差は、大学受験という超えるべきハードルの有無が大きいと思われる。大学受験に関しては、5,000語レベルの英語の語彙力がないと大学入試に対応できないため、語彙力をあげる努力がなされるが、高専生には、大学受験というハードルがないため、必要な語彙力が不足してしまう傾向がある。また、語彙力に加え、ある一定レベルのまとまった量の英文に取り組む活動を自主的に学習する習慣がないため、特に TOEIC Reading で求められる速読に関するスコアに影響している。

高専は必ずしも大学入試に対応できるカリキュラムとはなっていない。生活の場面においても、外国人と英語でコミュニケーションをとる必要性がほとんどない環境である。また、「将来の仕事で必要になる」ことも学生にとっては漠然としており、明確な英語学習への動機付けにはなっていないようだ。そのため、英語学習に関しても具体的な目標が定め辛く、個人の意志に任されることが大きい。須藤(2017)も主張しているが、TOEIC で高いスコアを獲得するためには、定期テスト対策のような直前の短期間の勉強で対応できるものではなく、日々の勉強時間を確保し、継続的に長期間かけて勉強を積み重ねなければならない。

しかし、学生が自律した学習者となるよう導く手段の一つとして、本校低学年(1~3年生)に TOEIC を目標に掲げることは、その内容の難しさから、むしろ有効な動機付けとは言えない。リスニング力の向上、文法の定着、語彙力の増加、長文読解への慣れを行うには、学生にとって馴染みのある実用英検を利用した学習の方が有効と思われる。

4. 最後に

学生の英語力の向上が課題となっている中、2019年度には、本校は高専機構が公募した「グローバル人材育成事業」に採択され、海外でも活躍できる英語力を有したエンジニア育成を目指すこととなった。具体的には、1年次から英検準2級や2級合格を目指し、英語の語彙力増強や基礎力を養うことで、英語力全般を向上させる取り組みを開始した。その結果、2020年度では、1年生で準2級に44名、2級に4名

が合格し、2年生では、準2級に35名、2級に1名合格することができた。また、3年生には準1級を取得した学生もいる。英検と TOEIC では単純な比較はできないが、一般的に、英検準2級は TOEIC400点相当、英検2級は TOEIC530点相当と換算されている。「グローバル人材育成事業」をきっかけとし、英検合格をモチベーションとして低学年次から意識的に英語学習に取り組むことで本校全体の英語力向上につながるとと思われる。

しかし、英語力向上は「英語」に関する授業で完結する問題ではないことから、現在、学校全体の課題として英語学習に対する雰囲気作りがなされつつある。英語科としても、日々の授業で継続的に語彙力の強化や既習文法の定着および発展につながる授業展開を工夫し、学生の英語力の底上げを図る計画である。これら学校全体の取り組みの結果として、上級生での TOEIC のスコアアップも期待できる。

謝辞

本稿を執筆するにあたり、英語学習アンケートに協力していただいた C 高等学校3年生の皆様へ深謝いたします。

参考文献

- 一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会、英語活用実態調査 企業・団体・ビジネスパーソン 2019
https://www.iibcglobal.org/library/default/toeic/official_data/lr/katsuyo_2019/pdf/katsuyo_2019_corpo.pdf (2021年10月アクセス)
- 一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション会、TOEIC Program DATA & ANALYSIS 2021
https://www.iibcglobal.org/library/default/toeic/official_data/pdf/daa_japanese_2021.pdf (2021年10月アクセス)
- 天内和人・高橋愛・石田浩一・原田徳彦・古田健一、専攻科における英語教育の現状と課題、徳山工業高等専門学校紀要第34号、pp. 49-54, 2010
- 須藤絢、全学年を対象とした TOEIC 講座の実践報告(2)、函館工業高等専門学校紀要第52号、pp. 100-104, 2018

(資料1: 英語学習アンケート)

英語学習アンケート

佐世保工業高等専門学校英語科の大里 浩文と申します。この度は、英語学習に関するアンケートにご協力下さりありがとうございます。本アンケートは、高専の学生と高校生を対象とし、英語学習に対する意識の違いを調査するものです。各質問の回答として当てはまるものに○を付けて下さい。

<進路について>

1. 高等学校卒業後に希望している進路を教えてください。

() 大学・短期大学 () 専門学校 () 就職

2. 現在希望している将来の業種は何ですか。

() 公務 () 農林漁業 () 鉱業 () 建設業 () 製造業
 () 電気・ガス・熱供給・水道業 () 情報通信業 () 運輸業・郵便業
 () 卸売業・小売業 () 金融業・保険業 () 宿泊業・飲食サービス業
 () 生活関連サービス業・娯楽業 () 教育・学習支援業 () 医療・福祉業

<英語学習について>

1. あなたは英語や英語学習に興味がありますか？

() ある () どちらかと言えばある () どちらかと言えない () ない

2. あなたは英語が得意ですか。

() 得意 () どちらかと言えば得意 () どちらかと言えない () 苦手

3. 英検を取得していたら、級を教えてください。

() 1級 () 準1級 () 2級 () 準2級 () 3級 () その他

4. 現在の主な英語学習の目的を教えてください。(上位3つを回答)

() 学校の定期テストのため () 進学のため () 将来の仕事のため
 () 英検やTOEIC等の資格試験のため () 海外旅行のため
 () 外国人と英語で会話を楽しみたいため () 外国人と友達になりたいため
 () 映画やドラマを英語で楽しみたい

5. 現在、一週間にどのくらい英語の勉強をしていますか。学校の授業は除きます。

() 1時間未満 () 1~2時間 () 2~3時間 () 3~4時間
 () 4~5時間 () 5~6時間 () 6~7時間 () 7時間以上

6. 自分で英語学習を行う際、主に利用しているものを教えてください。(複数回答可)

() 学校の授業で使うテキストや教材 () 自分で購入した参考書や問題集
 () 資格試験対策用テキストや問題集 () スマートフォンアプリ () 学習塾
 () 英会話スクール () オンライン英会話 () テレビ / ラジオ講座

7. 自分で英語学習を行う際、重視して取り組んでいるものを教えてください。(上位3つを回答)

() 授業(学校)の予習・復習 () 単語・熟語 () 文法 () 長文読解
 () 英作文 () リスニング () スピーキング

8. 英語学習において、みなさんが最も苦労していることを教えてください。(自由記述)

ご協力ありがとうございました

(資料 2 : 自由記述例)

<佐世保高専>

単語・熟語

- ・単語・熟語を覚えること (20)
- ・単語が分からない(5)
- ・単語テスト
- ・一つの単語の自分が知らない意味
- ・単語をすぐに忘れる

文法

- ・文法が分からない (3)
- ・文法の並べかえができない
- ・文法を覚えられない (5)
- ・文法を覚えることの必要性が分からない
- ・副詞の使い方

長文読解

- ・長文が難しい (2)
- ・日本語訳の仕方
- ・長文が読めない

英作文

- ・覚えた単語を英作文で活用できない
- ・文章が作れない (6)

リスニング

- ・リスニング学習 (2)
- ・リスニングが難しい (5)
- ・話すスピードが速いと追いつこうとパニックになり理解できなくなる。

スピーキング

- ・話せない
- ・話したりする力が全然身につけていない
- ・難しい
- ・すべての英語関係の授業で英語をアドリブで話す機会が全くなり、能力が寂れてしまう。

その他

- ・何をすればいいのか分からない
- ・なるべく日本語を使わないこと

- ・英語の授業がしていることが将来役に立つのか不安 (2)
- ・発音がうまくできない
- ・発音の違いが理解できない (2)
- ・会話練習
- ・会話を成り立たせるのが難しい
- ・授業が楽しくない
- ・英語を勉強する気になれない。どうせ忘れる。
- ・TOEIC や英検の受験料の高騰
- ・英会話の課題が多い
- ・英語のための英語を勉強すればいいのか、TOEIC のための勉強をすればいいのか分からない。また、英語の体系的な勉強法も知りたい。
- ・全て

<C 高校>

単語・熟語

- ・単語・熟語を覚えられない (22)
- ・発音は明らかに対応しているように見える綴りが多いこと
- ・スペルによって"ly" だったり"lly"だったり異なること。同じ意味の単語でも組み合わせられる熟語と、できないものがあること。
- ・前置詞で意味が変わる熟語があること

文法

- ・文構造が難しい
- ・文法を覚えること (10)
- ・倒置など文法の例外的な決まり
- ・仮定法

長文読解

- ・速読 (14)
- ・長文の正しい解釈 (13)
- ・途中で飽きる

英作文

- ・英作文 (2)
- ・要約
- ・自分で添削すること

リスニング

- ・リスニング (19)
- ・まったく聞き取れない
- ・オーバーラッピングをやっていたけど、単語力が足りないからと、単語の例文を聞いたりすることに重点を置くと 1 か月でリスニング力がだいぶ下がった。このように新しくやる取り組みを行う時、今までやっていた取り組みを続けないと能力が著しく下がること。

スピーキング

- ・自分が知っている単語で意見を言うこと
- ・言葉が出てこない
- ・難しい (3)

その他

- ・受験じゃなければ楽しい

- ・とにかく分からない
- ・苦勞というより不満なのかもしれないが、あまり言語として英語を教えてくれる先生がいないので、語源などを探るために多くの時間がとられる。また、文法に重きを置かない英語授業を拡大する今の教育業界のせいで理解のしにくい教科書になっている。学習の妨げでしかない。
- ・集中力
- ・英検 2 級
- ・覚えることが多くて大変
- ・分かってないところが多すぎて時間が足りない
- ・教科表記において、英語という表記がもはや English ではなく、大変不思議に感じている
- ・英語を使う機会がない
- ・言語がいつも使っている公用語と違うので、単語がわからなかったら何もわからなくなる
- ・発音のつながり